

平成 21 年度環境技術実証事業検討会 VOC 簡易測定技術分野  
ワーキンググループ会合（第 3 回）  
議事概要

1. 日時：平成 22 年 3 月 18 日（木）10:00～12:00

2. 場所：三菱総合研究所 セミナー室

3. 議題

- (1) 実証試験報告書（案）の確認
- (2) 実証試験要領の見直しについて
- (3) その他

4. 配布資料

資料 1	これまでの経緯
資料 2-1	実証試験結果報告書（案）（光明理化学工業株式会社）
資料 2-2	実証試験結果報告書（案）（有限会社オー・エス・ピー）
資料 2-3	実証試験結果報告書（案）（フィガロ技研株式会社）
資料 2-4	実証試験結果報告書（案）（理研計器株式会社）
資料 3	平成 22 年度実証試験要領案
資料 4	今後の検討スケジュール（予定）
参考資料	第 2 回 WG 議事録

5. 検討員出欠

出席：有菌座長、岩崎委員、坂本委員、佐々木委員、須藤委員、土井委員

欠席：なし

6. 検討内容

議事に実証試験経過を含むため、会議は非公開で行われた。

- (1) 実証試験報告書（案）の確認
  - ・ 技術のユーザーにとっては、実証試験結果が横並びで比較出来ればわかりやすいため、表記の面ではそのような点に気を付けて欲しいとの意見があった。
  - ・ 一方、実証の対象とする機器の幅が広いため、一概にそのような比較は難しいとの意見があった。ただし、対象機器でどのような測定が可能か（公定法との棲み分け等）を明確にする必要性が示された。
  - ・ VOC 簡易測定技術の分野においては国内市場があまり見込めないため、国際市場を検討する必要がある。手数料体制に移行する前に実証試験結果報告書の英訳などについて、早急に対応していただきたいとの意見があった。
- (2) 実証試験要領の見直しについて
  - ・ 模擬ガスを利用した測定という方法は難しく、予め設備が揃っている機関がないと実証試験が実施できないという懸念が示された。このため、模擬ガスはボンベが作

成可能な範囲でのみ作成するという方針が提案された。

(文責：環境省総合環境政策局総務課環境研究技術室)